

## 施工時の安定計算（自動モード）

施工時における各段掘削時の計画斜面の安定を検討する

### 1. 照査条件

項	目		数 値	備 考
補強材の許容引張り応力度	sa	kN/m <sup>2</sup>	264.7	
補強材のせん断応力度	sa	kN/m <sup>2</sup>	117.6	
補強材と注入材の許容付着応力	c	N/mm <sup>2</sup>	2.4	
極限周面摩擦抵抗の安全率	Fsa	-	1.5	
設計引張り力の低減係数	μ	-	0.7	
補強材の引張り力の低減係数		-	0.7	

### 2. 照査結果

安定度照査結果を以下に示す。

照査ピッチの設定 H= 2.0m

施工時の計画安全率 Fs= 1.05

照 査 結 果						
項 目	掘削標高(m)	中心座標		半径 r(m)	最小安全率 Fs	使用補強材
		距離X(m)	標高Y(m)			
1	12.700	10.000	25.000	17.640	1.886	~
2	10.700	10.000	27.000	19.640	2.008	~
3	8.700	12.000	21.000	12.785	1.758	~
4	6.700	12.000	19.000	12.277	1.319	~
5	4.800	4.000	27.000	23.591	1.139	~
6	4.800	10.000	21.000	15.106	1.346	1 ~ 7

は掘削標高より上部の補強材をすべて挿入します。

施工時の計画安全率 Fs = 1.050 以下で計算は終了します。